

4 就学前教育プログラムと就学前教育カリキュラムの位置付け

東京都教育委員会は、平成22年度に、就学前教育プログラムを開発しました。本プログラムは、就学前教育と小学校教育との接続期に焦点を当て、保育所や幼稚園等に在籍する子供の小学校生活への適応を図ることを目指し、就学前教育と小学校教育との円滑な接続のための保育所や幼稚園等と小学校との具体的な連携の方策を示したものです。

「就学前教育プログラム」における連携の方策の視点

○視点1…幼児と児童の交流

→児童への憧れや小学校生活への期待感を高めるための幼児と児童の交流

○視点2…保育士・教員の連携

→相互理解と指導の接続を図るための保育所の保育士、幼稚園の教員と小学校の教員との連携

○視点3…保護者への理解啓発

→家庭教育を支援するための小学校の生活や学習についての保護者への理解啓発

※「就学前教育プログラム」閲覧ホームページアドレス

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/manabiouen/pr100422sy/pr100422sy.htm>

それに対して、就学前教育カリキュラムは、小学校教育との接続を踏まえ、乳幼児期の子供に生きる力の基礎を培うために、発達や学びの連続性を考慮しながら0歳児から5歳児の発達に応じて確実に経験させたい内容を明らかにするとともに、具体的な指導例を示したもので、各保育所や幼稚園等が編成する保育課程や教育課程（幼保連携型認定こども園においては全体的な計画）に相当するものです。

各保育所や幼稚園等においては、保育課程や教育課程を編成（幼保連携型認定こども園においては全体的な計画を作成）する際に、就学前教育プログラムを活用して、小学校教育との円滑な接続のための連携の取組として、「幼児と児童の交流」、「保護者への理解啓発」、「保育士・教員の連携」について具体化していくことが望まれます。

【イメージ図】「就学前教育プログラムと就学前教育カリキュラムの位置付け」

